

瀬戸内市立瀬戸内市民病院だより

さんさん広場

第 106 号

《編集・発行》

瀬戸内市民病院広報委員会

瀬戸内市邑久町山田庄 845-1

TEL (0869) 22-1234

FAX (0869) 22-3296

URL <http://www.city.setouchi.lg.jp>



《理念》 市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指します。

瀬戸内市民病院を希望して入職された新職員が、患者サービスの向上と医療サービスの適切な提供に向け、そし

ました。説明がそれぞれの担当職員から行われました。

そのあと三河内病院事業管理者から、病院理念「市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指します。」の意味と基本方針について訓示がなされました。

辞令交付式に続き、新採用職員に対しオリエンテーションが行われ、「瀬戸内市民病院の概要・組織」、「職員としての心がまえ」や「人事・給与制度」、「感染管理」、「医療安全管理」などの

4月1日（月）、午前8時からさんさんホールにおいて、辞令交付式が行われ、4月1日付発令の新採用職員等に対し辞令が交付されました。本年度の新採用職員は、看護師4名、理学療法士1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員1名の計7名、併せて再任用職員3名、昇格職員5名、臨時職員2名の合計17名が辞令交付式に臨みました。式には病院幹部も出席、三河内病院事業管理者から一人ひとりに激励の言葉とともに辞令が手渡されました。新採用職員は一様に緊張した面持ちで辞令を受け取っていました。

て自らの理想の実現に向けても努力されることに対し、我々先輩職員としてはその成長を日々サポートできるように、一層研鑽に励んでいかなければならないと、身が引き締まる思いがいたしました。

辞令交付式を行いました

（事務局長 馬場洋一）

て自らの理想の実現に向けても努力されることに対し、我々先輩職員としてはその成長を日々サポートできるように、一層研鑽に励んでいかなければならないと、身が引き締まる思いがいたしました。



目次

- | | | | |
|--------------------------------|----|--|----|
| □ 辞令交付式を行いました | …1 | □ 外科用イメージを更新しました | …6 |
| □ 特別講演 「保健医療サービスの今後の展望」に満員の参加者 | …2 | □ 超音波検査士（健診領域）を取得して | …6 |
| □ 新任ご挨拶 看護局長 天野芳子 | …3 | □ 【3月2日(土)】餅つき大会を行いました | …6 |
| □ 接遇委員会発「ありがとう 優しい言葉で 和を築く」 | …3 | □ なるほど！！健康教室【3月14日(木)実施】あなたは知っている？～サプリメントとのつきあいかた～ | …7 |
| □ 東病棟を地域包括ケア病棟に | …3 | □ 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士に合格して | …7 |
| □ 「年度始めの式」举行 | …4 | □ 職員紹介コーナー「庭」 | …8 |
| □ 総合案内に専任看護師配置 | …4 | □ 第31回岡山県作業療法学会でポスター発表を行いました | …8 |
| □ 消防訓練振り返り講習会を実施しました | …4 | □ 編集委員のちょっと一服～オリーブの木の下で～ | …8 |
| □ 健康シリーズ Vol.2 大殿筋 | …5 | | |

特別講演 「保健医療サービスの今後の展望」に満員の参加者



4月17日（水）、17時30分

からさんさんホールにおいて、岡山県保健福祉部長 中谷祐貴子先生による特別講演「保健医療サービスの今後の展望」を職員研修として開催しました。中谷先生は、昨年7月西日本豪雨直後、厚生労働省から着任されました。厚生労働省では大臣官房、医政局、社会・援護局、健康局、保険局など17年間にわたり要職を歴任され、在外研究員としてアメリカ派遣のほか、世界保健機関（スイス）にも2年余勤務されています。

現在、医療や介護・保健・福祉などの社会保障制度を取り巻く環境は著しく変化しており、留まることはありません。それだけに、病院に勤務する我々も、これら環境変化の要因は何か、それに

対する政策や方向性、今後の視点などについて考える機会を得ることは、業務遂行の上からも非常に有意義であると考えていました。

医師であり、そして内外の医療事情にも長じておられる先生のお話をお伺いすることは、我々にとってまたとない機会であり、楽しみなイベントでもありました。

特別講演は、三河内管理者を座長として進められ、受講者は病院職員のみならず市役所の関係部局からも参加されました。冒頭、武久頭也瀬戸内市長から「このよう



挨拶をする武久頭也瀬戸内市長

武久市長のこの言葉は、本講演に対するご自身の考えを述べられたものでありますが、自己研鑽としてあらゆる機会の研修を受けるなど自己投資に励む職員にとって、力強いリーダーとしての言葉と感じられたことでしょう。

講演の骨子は、保健医療サービス提供の課題、今後の視点の2項目でした。「保健医療サービス提供の課題」としては、①医療・介護の支え手（生産年齢人口）の減少、②医療・介護ニーズ（高齢者）も将来は減少、③生活形態の変化（介護の支え手が多様化）、④感染症から生活習慣病への疾病需要の変化、⑤新たな技術・治療とそのコストの増加、をあげられ、いずれも公的資料を根拠にテンポよく説明されました。課題克服のポイントとしては「人材確保・育成」と「効率化・生産性の向上」をあげられ、IT技術の活用や事務・監査の合理化など具体的な内容にも触れられました。

「今後の視点」は私見とした上で、①職種を超えた魅力あるキャリアパスの確立、②サービスの標準化、③業務の効率化、④サービ

ス利用者への教育・介入の充実（質の向上、満足度の向上）をあげられ、説明されました。



講演中の中谷祐貴子保健福祉部長

講演は、約30分と比較的短いものでしたが、中谷先生は講演後20分という長い質問時間をとってくださり、あらゆる質問にお応えにられました。参加者と忌憚のない対話を行ってくださったのです。参加者に考える機会と疑問の提議を促されたものと思われませんが、参加者のほとんどはアンケートの中で「とてもよかった」「よかった」と答えており、高い満足感を感じていました。業務ご多忙の中、ご講演くださいました中谷保健福祉部長に、紙面をお借りし、改めて御礼を申し上げます。

（事務局長 馬場洋一）

新任ご挨拶 看護局長 天野芳子



はじめまして、看護局長の天野芳子です。私は国立病院機構を定年退職後、民間の回復期リハビリテーション病院で約4年間勤務し、このたびご縁あって当瀬戸内市民病院に勤務することになりました。4月1日に着任し、早1ヶ月が経ちました。病院に少し慣れ、目的の場所へ行けるようになりましたが、まだまだ分からない業務が多く、あせりを感じています。看護以外の方とも話す機会が増え、少しずつ病院の状況が理解できるようになりました。

インシデントや苦情など、頭の痛いこともあります。それらができるだけ解決し、患者さんやご家族の方に期待される病院となるよう努力して行きたいと思っています。また、コミュニケーションが何より大切だと思っていますので、気軽に声をかけていただけたらと思います。どうぞよろしく願います。

接遇委員会発 「ありがとう 優しい言葉で 和を築く」



標語の掲示を開始した平成28年度から通算、6回目となる接遇標語をこのほど制定しました。職員から募集し、接遇委員会がこれというものの1題を選び出し、原則6ヶ月ごとの標語として各職場に掲示し、それぞれの実践テーマとしているところです。

今回の募集は令和元年度前期（5月～9月）の標語ですが、前回同様力作が揃い、選考にも難渋しました。応募数は全部で10題と前回よりやや少なめでしたが、その中で最も高い評価を集めた「ありがとう 優しい言葉で和を築く」が栄えある令和最初の接遇標語に選出されました。因みに第2位は「挨拶は 心をつなぐ合言葉」、第3位は「接遇の 基本は気遣い 思いやり」でした。（接遇委員会委員長（内科医長）加原健治）

東病棟を地域包括ケア病棟に

当院は、北病棟（一般急性期：50床）、東病棟（一般急性期14床、地域包括ケア16床…計30床）、西病棟（回復期リハビリテーション…30床）の3ヶ病棟で運営していました。この入院機能を見直し、3月1日から東病棟の30床全部を地域包括ケア病棟として運営しています。

地域包括ケア病棟（病床）とは、手術などの急性期医療を終了し病状が安定した患者さんや、在宅療養中に入院が必要となった患者さんに対し、在宅復帰に向けて支援を行う病棟です。今後の人口問題も視野に入れると、このような機能の病床が一層必要になるものと考え、増床し運営することとしました。

入院対象となる患者さんは、自宅または介護施設等に復帰予定で、入院治療により症状が改善、安定した後、もう少し経過観察や在宅での療養準備が必要な方となります。また、在宅介護中や施設に入所中、緊急の入院が必要となった場合の受入も行います。

入院期間は状態に応じ60日が限度となります。入院費用については定額で、入院基本料、投薬料、注射料、画像診断料、検査料、処置料、リハビリテーション料などの費用が含まれていますが、治療内容によっては一般病棟より自己負担額が増額となる場合もあります。具体的には、各病棟あるいは地域医療連携室にお尋ねください。

（事務局長 馬場洋一）



「年度始めの式」挙行

4月1日(月)、12時30分からさんさんホールにおいて、毎年恒例となった「年度始めの式」が行われました。式は小山病院事業部長の司会でとり行われ、新採用職員の紹介に引き続き三河内管理者、竹内院長の訓示が行われました。

三河内管理者からは病院理念の達成に向けて職員個々がなすべきことの大切さを、竹内院長からは患者さんに満足のためだけの医療提供と接遇の重要性について、話されました。

この日のお昼前、5月1日からの新元号が「平成」から「令和」に改められる旨発表されました。この平成最後の4月から出帆した「瀬戸内

市民病院丸」が、令和の大海原に漕ぎ出しました。その航海の途中にはさまざまな難問にぶち当たることもあるでしょうが、職員全員で支えあい一つ一つ克服しながら市民の皆様の付託に応えられるような瀬戸内市民病院丸であり続けられるよう努力しなければなりません。と、思いを強くした15分間でした。

(事務局長 馬場洋一)



総合案内に専任看護師配置

新病院開院当初からの懸案であった外来の総合案内に、4月1日から専任の看護師を配置しました。

主な任務は、初診外来患者さんへのご案内や、受診に関してのご相談に対応させていただくためですが、配置している丹生香久子看護師は3月末外来看護師長を最後に定年退職した、いわゆるプラチナナースです。これまでの豊富な経験と知識を活かし、患者さんの問い合わせ等に対し適切なご案内と

ともに、車椅子の介助やお母さん方に対しベビーベッドの提供、待ち時間への工夫なども行っています。また、外来看護力が手薄な場合には応援にも駆けつけます。配置以後、外来患者さんからの不案内に対する苦情も減少しています。

当院を訪問される市民の皆様が病院的な便利機能として、また困ったときの道しるべとしてご愛顧いただければと思います。

(事務局長 馬場洋一)



消防訓練振り返り講習会を実施しました

3月18日(月)、19日(火)、20日(水)に消防訓練の振り返り講習会を実施しました。これは、

1月31日(木)に行った夜間想定消防訓練の内容をとりまとめ、訓練に参加した方だけでなく、職員全体にフィードバックすることを目的としたものです。

内容としてはまず、訓練概要や実際の訓練の様子をスライドで見ただき全体の流れを把握してもらおうに行いました。そして、訓練後に行ったアンケートの回答や、事務局長の講評を紹介しました。

実際の訓練では、業務との兼ね合いもあり参加者が限定されてしまったため、こういった振り返りはとても有効かつ重要であると思います。職員全体の防災に関する知識と意識の向上のため、これからも様々な訓練を行っていききたいと思っています。

(事務局)

健康シリーズ Vol.2 大殿筋

殿筋（でんきん）と名が付く筋は、**大殿筋**（だいでんきん）、**中殿筋**（ちゅうでんきん）、**小殿筋**（しょうでんきん）があり、これらは骨盤と大腿骨をつなぐ筋ですが、それぞれの役割は異なります。今回は**大殿筋**について紹介します。

✓**大殿筋**には主に次の機能があります。

- ✓ 股関節を伸展, 外旋させる。
- ✓ 骨盤を安定させる。
- ✓ 歩行を安定させる。

具体的には、立ち上がる時や階段を上がる時など、力強く太腿を後ろに動かす動作に必要となります。

また、大殿筋と腰痛の関連では、腰痛のある患者は腰痛のない患者に比べて、大殿筋の筋委縮が認められたとの報告もあります。



出典：Essential Anatomy 3

大殿筋をトレーニングすることで、立ち上がりや階段などの**動作安定**や、**腰痛予防**といった効果が期待できます。

✓**大殿筋**のトレーニング

回数：10 回程度～ セット数：1～4 頻度：一日おき～毎日
翌日以降の疲労度によって調整していきます。



注意事項：脳血管，心大血管，骨関節，等に疾患がある場合、主治医に確認してください
(リハビリテーション科 (理学療法士) 元家佳仁)

外科用イメージを更新しました



平成30年10月1日から新しい外科用イメージを使用しています。

外科用イメージとは透視撮影が可能な移動式のX線撮影装置です。主に手術室で使用し、特に整形外科系（手関節・股関節・膝関節など）の手術を行う際に必要です。14年間使用した旧来の装置と比べ、画像がより鮮明になりました。近年、手術件数も増加傾向にあるため、丁度よいタイミングでの更新となりました。（診療放射線科 科長 赤木耕平）

超音波検査士（健診領域）を取得して 臨床検査科（臨床検査技師） 田村 美紀

この度、公益社団法人日本超音波医学会主催の第34回超音波検査士認定試験の健診領域を受験し、合格しました。超音波検査士とは、日本超音波医学会が認定する認定資格で同学会が超音波検査の優れた技能を有する技師を専門の検査士として認定しています。

当院には健康管理センターがあり、毎年瀬戸内市内在住の方々が多数受診して下さいます。受診して下さいる方々に、信頼される正確な検査結果を返却できるように、また安心して受けて欲しいという思いから、自分の超音波検査に関する知識不足を感じ受験を決意しました。限られた時間での受験勉強でした



が、無事合格できてよかったです。しかし、合格することがすべてではないと思っています。認定試験に合格すること、初めて超音波検査のスタートラインに立った気がしています。

まだまだ知識不足の部分もあるので、これから自分の技を磨き、当院で健診や診察を安心して受けて頂けるよう医療の質向上に努めるとともに自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

【3月2日（土）】餅つき大会を行いました



3月2日（土）レクリエーション委員会が主催し石臼と杵を使った餅つき大会を行いました。

病院職員とその家族30名余りの参加者で、初めて目にする大きくて重い杵の扱いに苦戦する子供達もいましたが、大人と力を合わせて餅つきに挑戦して楽しんでいました。また、大人の迫力ある餅つき姿を見ては「すごい！頑張れ！」と賑やかな歓声が飛んでいました。

つき立てのお餅はその場でパクリ。定番のきな粉やあんこの他、生チョコレートを包んだり、イチゴ大福にしたりと様々な趣向に大盛況で、あちらこちらで「美味しい」「美味しい」と笑顔の花が咲きました。

（レクリエーション委員会（事務局） 原田孝）

当院では、地球温暖化防止及び省エネルギー対策の一環として、事務所内の温度を28℃程度に設定いたしますとともに、次の期間におきまして、クールビズ運動を実施させていただきます。この間、原則軽装（ノーネクタイ、ノー上着等）での勤務となりますので、何とぞご理解たまわりますようお願いいたします。

実施期間：2019年5月1日～10月31日

なるほど！！健康教室【3月14日（木）実施】

あなたは知っている？ ～サプリメントとのつきあいかた～

薬剤科長 森一徳



当院1階のさんさんホールで「サプリメントの話」をさせて頂きました。サプリメントとは、不足している栄養素を「補うもの（サプリメント）」というのが一般的な意味です。適切なサプリメントを選ぶためには、本来「自分にどのような栄養素がどの程度不足しているか？」を知る必要があります。

よう。洋菓子や清涼飲料水に含まれるブドウ糖や砂糖、果糖は甘かったり口当たりがよかったりで、過量摂取しがちですが、血糖の急激な上昇を招きます。血糖値の急上昇や急下降は心身に良くありません。できるだけ米やイモなどに含まれる多糖類に置き換えて、ゆっくり糖質を吸収するよう心がけましょう。

タンパク質は1日に体重1kgあたり1gを目標に摂取しましょう。ただし腎疾患等でタンパク制限がある場合を除きます。特に青魚にはタンパク質のみならず、良質の脂質（不飽和脂肪酸）が含まれているので、脂質も同時摂取できて一挙両得です。

またナトリウム・カリウム・カルシウム・マグネシウム・鉄・亜鉛などのミネラル類（微量元素）の摂取状況も今一度振り返ってみたいところです。ナトリウムの採りすぎは高血圧の原因になります。食塩1日6g以下の制限は、我々日本人には少々厳しいものです。採りすぎた時は、カリウムを豊富に含むバナナを食べ、余分なナトリウムを体外に排泄しましょう。マグネシウムや亜鉛は不足しがちなミネラルです。亜鉛は牡蠣に豊富に含まれています。果物・野菜から採ることができるビタミン類も、近年では作物中の含有量が低下していると言われています。サプリメントとして販売されているビタミン剤を飲む際は脂溶性ビタミン、とりわけビタミンAの過量摂取に留意してください。適量の野菜ジュースで代用するのも良いでしょう。

エルゴジェニックスエイド（能力を上げる物質）をサプリメントと表現する場合もあります。カフェイン（コーヒーや一部のお茶に含まれる）はエルゴジェニックスエイドです。

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士に合格して

リハビリテーション科（言語聴覚士）安藤佐知子



昨年12月2日、愛知県名古屋市中において日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士試験が行われ、無事に合格することができました。本学会は、様々な要因で「口から食べる」ことが難しい方々への支援や啓発活動・専門家の育成を行う団体であり、医師や歯科医師をはじめとした「食べる」ことに関係する様々な職種が所属しています。当院でも、高齢者の方が多く「食べる」ことへの支援をさせていただいており、また、認定士資格を取得した今、より一層の知識と技術を習得できるように邁進すると共に、患者さんの人生・生活に寄り添った対応をしながらその方の「食べる」機能や生活を守るよう関わらせていただきたいと思います。

職員紹介「庭」



こんにちは、リハビリテーション科所属、言語聴覚士の安藤佐知子です。当院に勤務して 5 年目を迎えました。京都生まれの滋賀県育ち、帰省して琵琶湖を見渡せば今でもほっとします。しかし日常での癒しは、やはり家族や共に暮らす猫たちの存在でしょうか？猫は自由気ままな性格などと言われ確かにその通りなのですが、一緒に暮らせば絆ができますし、そこにいるだけで大きな癒しの存在です。しかし時には、病気をしたり元気がない時もあります。物言わぬ猫たちの健康管理の為、日々観察とお世話をしながらこちらが癒されている毎日です。ペットを飼われている方は多いと思いますが、私もまた、この子たちが幸せに暮らしてくれるよう願う毎日です。

★★ 次号の「庭」★★

事務局の秋山智彦さんです。ご期待下さい。

第 31 回岡山県作業療法学会でポスター発表を行いました

平成 31 年 3 月 2 日（土）、3 日（日）に川崎医療福祉大学で行われた、第 31 回岡山県作業療法学会「専門性の探求—対象者と作業療法士のために—」に参加し、ポスター発表を行いましたのでご報告させていただきます。

私は「関節リウマチ患者における調理動作向上への取り組み」と題し、関節リウマチに罹患し左足趾術後の患者様が立位や、調理器具の把持動作に不安を感じる場面が増えたことから、リハビリを通じて調理動作が向上する過程を分析して報告しました。

発表する際は、調理動作向上に対して色々な質問があり、身体の変化に加え、精神面への配慮も大切であることを改めて認識出来ました。

今回の発表に際して、ご指導して下さいました皆様に御礼申し上げますと共に、今回の経験を今後の臨床に活かしていこうと思いました。

（リハビリテーション科（作業療法士）木村真穂）



編集委員の

ちょっと一服



～オリーブの木の下で～

最近、国会議員の失言が話題を呼んでいます。つい最近も、復興より某国会議員が大事と言って 2 時間後に辞任した大臣がいました。この御仁は五輪担当大臣就任時にオリンピック憲章を読んでいないと国会で堂々と答弁し周囲を驚かせたこともありました。

その少し前には「私は忖度しています」と誇らしげに TV カメラの前で言い放ち、辞任した副大臣もいました。以前には「歯舞」（はぼまい）が読めなかった沖縄北方担当大臣や、未曾有（みぞう）を「みぞうゆう」と読んだ総理大臣もいました。この総理大臣の読み間違いは、「下町ロケット」などのヒットメーカーで知られる池井戸潤さんの小説「民王」のモチーフになって笑わせてくれました。

積極的に恥をかきにいく彼らの姿をみていると、笑いを噛み締めながらも、他人事ではないと感じたりしています。なぜなら最近、私自身「プロジェクター」のことを「インジェクター」と書いてスタッフに説明し続けました。それでもうまくいったのは賢いスタッフが忖度してくれていたのです。上位のポストになるにつれ、誰も誤りを指摘してくれなくなります。自分で律しなければ、とんだ「裸の王様」になりそうです。(B)